

第 25期物理学委員会（第 1 回）議事録

R2 年 10 月 3 日（土）10:00～12:00

日本学術会議 会議室 6C(2)

出席者：梶田隆章、川村光、腰原伸也、田村裕和、野尻美保子、森初果、山崎典子

議事：

1 役員の選出

世話役野尻委員の司会で委員長の互選が行われ、川村委員を25期の物理学委員会委員長に選出し、本人の承諾をいただいた。

その後、川村新委員長から以下の役員が指名依頼され、いずれも本人の承諾をいただいた。副委員長：野尻委員、幹事：山崎委員、腰原委員

2 至急の承諾を要する分科会の設置承認について

要請のあった結晶学分科会の設置に関し、令和2年10月3日～令和3年3月31日の期間で設置することを承認した。

3 日本学術会議会則第 27 条第 2 項の取扱について

第 24 期同様、物理学委員会は規模もさほど大きくなく、相互の連絡も比較的容易なことから、引き続き分科会議決を委員会議決とはしないこととした。

4 議事要旨について

議事要旨案を幹事側が作成し、委員間で確認後、最終的な修正・承認を委員長に一任することとなった。

5 メールアドレス共有について

メールアドレスは、物理学委員会のうちで学術会議会員間のものは共有することで承認された。今後連携会員を追加した際には、本人の意思を確認して可能ならば共有することとなった。

6 分科会世話人について

6つの分科会（(1)物理教育、(2)IUPAP、(3)物一、(4)IAU、(5)天文学宇宙、(6)素核）の24期の世話人リストが資料4として配布され、種々確認と議論を行い、25期は、(3)物一の世話人を、川村委員から森委員に変更するほかは24期と同じとすることとなった（(1)笹尾(真実子)委員、(2)野尻委員、(3)森委員、(4)山崎委員、(5)山崎委員、(6)田村委員）。今後世話人、各分野担当の物理学委員会委員が中心となって、委員名簿も含め至急協議し、以下の予定で委員会、分科会立ち上げを極力早急に行うこととなった。特任連携委員が必要な場合は手続が必要なため、早急に確認する。

1 1月上旬：分科会世話人が記入し物理学委員会委員長が確認した

分科会提案書を事務局に提出

（1 1月下旬の学術会議幹事会で承認を受ける）

1 1月下旬：同様に分科会委員名簿を事務局に提出

（1 2月下旬の学術会議幹事会で承認を受ける）

1 2月上、中旬：各分科会名簿をもとに、物理学委員会委員候補を検討会員の委員間で専門分野や各分科会の長・役員などを総合

的に協議の後、最終的には委員長の調整を経て事務局に提出（1月の学術会議幹事会で承認を受ける）。

1月中旬：分科会開催、分科会の委員長や役員を選出。

2月中旬：連携会員も含めた物理学委員会全体の次回物理学員会を開催。

7 連携会員説明会について

10月末ないし11月上旬開催予定であるが、方式等はまだ未定との説明が事務局よりあった。説明のため出席を求められる場合は、委員長以下幹事団で対応することとした。

8 その他

(1) 期の引継ぎにあたり、24、25期の委員長、副委員長4名の連名で、物理学会誌に24期報告と25期発足時現在の状況、今後の展望などを掲載することとなり、25期委員長が物理学会に執筆打診をすることとなった。

(2) 同様に物理学会年次大会において、学術会議と物理学会の連携のためのインフォーマルミーティングを開催する方向で、副委員長から申し込みをすることとなった。

(3) IUPAP100周年に当たって、物理学委員会として取れる対応について協議を種々おこなった。その結果、IUPAP分科会委員を中心に、応物など関係分野の委員の協力もお願いしながら、物理学会、応物学会など関係学会に具体的対応の検討が可能か打診を行うこととなった。

以上